

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
運動器の診断2						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・夜間部	3年	2期	林 一徳		○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	柔道整復術の適応			座学	1	10
科目概要						
運動器の疾患と傷害の内容について正しく理解し、行うべき治療について適切に判断する。						
目標						
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	臨床において外傷の対応を正しく行えるようになるために、上肢部・下肢部を中心に適正な病態を把握し、柔道整復術の適否を考える。					
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、量化的な指標(合格基準)</small>	診断を把握するため、その運動器の説明ができる。 症状をとらえ、鑑別ができる。 診断に伴い、柔道整復術の適応であるか考えることができる。				
履修に必要な予備知識や技能						
解剖学、生理学を適確理解し、身に付ける。医学的な新しい知識について関心を抱く。						
教科書・参考書						
1. 全国柔道整復学校協会監修「整形外科学」改訂第4版 2. 医療の中の柔道整復						
受講上の注意						
私語厳禁 トイレなどへの入室は無断で良い。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他
評価割合(%)	100					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	前学期定期試験の解説、パワーポイントによる視覚授業 1. 上腕・肘関節の損傷 2. 内臓疾患の損傷を疑う疼痛			1.P188-196 2.P.3-10	試験問題 教科書 補足プリント	
第2回	1. 肘関節・前腕の損傷 2. 転移性脊椎腫瘍・化膿性の炎症など			1.P196-204 2.P.10~16	教科書 補足プリント	
第3回	1. 手関節・手・手指の損傷 2. 軟部組織の圧迫損傷・末梢神経損傷を伴う損傷			1.204-213 2.P.17~25	教科書 補足プリント	
第4回	1. 手・手指の疾患・損傷 2. 末梢神経損傷を伴う損傷・脱臼・脱臼骨折			1.213-221 2.P.25-33	教科書 補足プリント	
第5回	1. 骨盤・股関節の損傷			1.P221-227	教科書 補足プリント	
第6回	1. 股関節の損傷			1.P.228-236	教科書 補足プリント	
第7回	1. 大腿・膝関節の疾患 下腿・足関節の機能解剖			1.P.236-244	教科書 補足プリント	
第8回	1. 下腿・足関節の外傷 足・足趾の機能解剖			1.P.245~255	教科書 補足プリント	
第9回	1. 足・足趾の機能解剖 足・足趾の外傷。疾病			1.P.255~264	教科書 補足プリント	
第10回	定期試験					
実務経験と本講義との関連について						
大学の医学部を卒業以来、運動器の診療と研究に携わって40年の経験を元に、運動器の診断について講義します。						
メールアドレス						
質問等は授業後に対応						